

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 岡山大建工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒702-8045 岡山県岡山市南区海岸通二丁目5番8号	
本票作成	部署名：設備管理部 原動課				
主たる業種	分類コード	1	2	業種名：木材・木製品製造業(家具を除く)	
事業の概要	事業内容：木質繊維板、鉱物質繊維板、火山性ガラス質複層板の製造 従業員数：300名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山大建工業株式会社		岡山県岡山市南区海岸通二丁目5番8号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成26年度 (5 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 ( 21 年度)			目標年度 (平成26 年度)					
	77,300 t CO <sub>2</sub>			73,400 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 ( 21 年度) の排出量					
	①	岡山大建工業株式会社		77,300 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製品12mm換算での面積(m <sup>2</sup> )	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		2.76 kg CO <sub>2</sub> / ( m <sup>2</sup> )	2.62 kg CO <sub>2</sub> / ( m <sup>2</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 ( 年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

社会経済状況の変化などにより、生産数量が大きく変化する場合の考えられることから原単位をとり対基準年度との比較を見やすくする為に原単位基準の削減目標を選択しました。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

本事業所はエネルギー起源の温室効果ガスの大量消費工場である為、平成20年度に改正されたエネルギーの使用の合理化に関する法律で新たに制定されたエネルギー管理統括者を中心に推進する。  
また、毎月エネルギー管理月報を課長以上に配信し、エネルギー消費設備の維持、管理、更新、新設等、高効率運転方法の見直しを行っている。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山大建工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年 5月特高圧変圧器8000KVA, 4000KVAの2台を高効率変圧器12000の1台に更新</li> <li>平成17年 5月排水工程用の高圧変圧器500KVAを高効率変圧器に更新</li> <li>平成17年 5月生産工程を撤去し、他工程に統合 固定エネルギーの削減</li> <li>平成17年10月大型乾燥設備燃料転換(全量) LNG→都市ガス</li> <li>平成18年 1月シラス焼成炉燃料転換(1基) A重油→都市ガス</li> <li>平成18年 7月ボイラー燃料転換 (1缶)A, C重油→都市ガス</li> <li>平成19年 5月木質バイオマスボイラー新設(1缶)</li> <li>平成21年 5月一部製品の製造を高効率生産設備に変更</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山大建工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年5月に設置されました木質バイオマスボイラーの負荷を高めて、これまで使用していたボイラの稼働率を減らし低炭素化を目指す。</li> <li>エネルギー多量消費設備の運転方法の見直しによる省エネルギー化</li> <li>製造ラインの維持管理、高効率化により原単位の削減</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	有	間伐等の整備されていない森林を林野庁の補助事業である「木質資源利用ニュービジネス事業」を活用し、間伐を実施しながら健全な森林の育成を行い、その間伐材はインシュレーションボードの原料として、枝葉は木質ペレット(ペットトイレ用ペレット)として活用しながら、森林保全活動に取組んでいる。
その他	有	同上(広島県)

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--